シネマズライフ

2019年12月21日発行 第174号 http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

貴樹(たかぎ) 諒音(りおん)

【最近のこれはお見事！】『私の知らないわたしの素顔』SNSにはまってしまった大学教授のお話で主演はジュリエット・ビノシュ。24才の女性になりすますらしいが、なりすまさなくてもビノシュは十分にお若いが。

【最近のこれはまずいぞ！】『ファイティング・ファミリー』チラシには《最強家族》とタイトルより大きく書かれている。それなら《最強家族》をタイトルにすればいいのにね。

映画の風景 日本の風景

谷川岳

← 谷川岳(トマの耳)

『八甲田山』という映画があった。こんな映画だ。

明治34年・日露戦争前夜。日本ではロシアとの戦いを控え、【寒地装備と寒地訓練】が必要であった。そこで、軍隊での冬の八甲田への行軍訓練を発案され、青森歩兵第五連隊神田大尉と弘前歩兵第三十一連隊徳島大尉が【冬の八甲田】への訓練が命令された。ところが総勢210名で向かった神田大尉率いる第五連隊に悲劇が起こる…。

世界でも有名な山岳遭難事件の映画化。事件の原因は数ある偶然が重なった為と言われているが、映画ではリーダーであるはずの神田大尉を差し置いて、随行していた大隊長の山田少佐が勝手に命令を出し混乱させた事が大きな原因の一つとしている。兵士達でも「自ら判断し行動した兵士」は助かって戦後まで生き残っている。

多くの兵士達が亡くなったのは《軍隊》という世界で命令に従っただけで、兵士達には罪はない。しかしまた、自分で考えて行動した兵士が助かったのも事実である。

谷川岳は標高が低いにも関わらず難所と言われている。要因は一ノ倉沢など岩場が多いからだそうだ。

個人的に登頂する時は一人で判断できるが、この映画のように《軍》という集団にいる場合では一人の判断で行動する事は難しい。

今【日本】という国に住んでいるが、国民は??な方向にいってる【日本】を離れる訳にはいかない。しかし、この国では自分達で判断して行動する事ができる。これからもアンテナを張り、正しい情報を見つけ最善の行動をしたいものである。

『八甲田山』1977年 日本 監督：森谷司郎 原作：新田次郎 原作：芥川也寸志 脚本：橋本忍
主演：高倉健 北大路欣也 栗原小巻 三國連太郎 秋吉久美子 緒形拳 加山雄三 小林桂樹 丹波哲郎 大滝秀治 加賀まりこ 森田健作

山岳事故史上、未曾有の大惨事となった〈八甲田雪中行軍遭難事件〉の映画化。２人のリーダーを対比し[リーダーの資質]の重要性を考えさせられる。

コラム

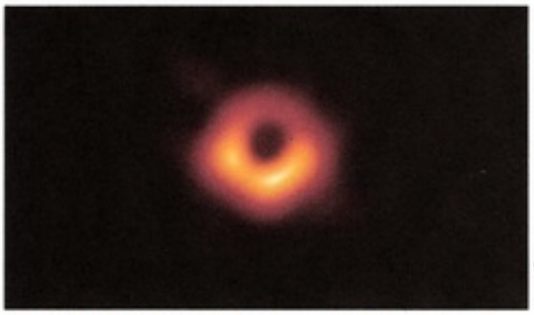
またまたもう年末だの件

アメリカの科学誌『サイエンス』の《今年の大発見》は「日本を含む国際チームによるブラックホールの輪郭の撮影成功」だそうだ。

おとめ座にあるM87を8基の電波望遠鏡の撮影データを合成したものだそうで、実際にカメラで撮った訳ではない。

直径は千億キロ質量は太陽の約85億倍。

地球人からすれば想像もつかない大きさ。太陽系がすっぽりと入るのだ。



↑ イベントホライズンテレスコープにより撮影されたおとめ座にあるM87中心部の超大質量ブラックホール。リングの直径は約1000億km、質量は太陽の約65億倍と推定されている。なお、この撮影画像は8基の電波望遠鏡が数日間にわたり収集した撮影データを基に作成された。
2019年4月10日13時(UTC)に公表

思うに、今・地球は混乱を極めブラック世界に突入の真っ最中な気がして仕方がない。

今、太陽の黒点が極小期に入っており、気候の異常もそれが原因ではないか？と言われている。寒くなると人の心も寒くなるもの、世界の混乱もそれが原因ではと私は一人珍説を唱えています(笑)。

でも、来年をピークに黒点は増えていくとの事。来年以降、人の心が温かくなると世界もブラックではなくホワイトになる事を祈っています。

今年はなんだかんだと愚痴ってしまいましたが来年もよろしくお願いします m(_ _)m

ウィキペディアを参考にさせていただきました。

72号のコラム「期待のドラマが始まって思った事」の続編は来年に書かせていただきます。m(_ _)m

☆【最近のこれはお見事！】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ！】は「これは、まずいぞ！」と思う題名を紹介しています。

on air !

ＣＳ・ＢＳ放送のオススメ映画を紹介します！

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もありますので確認お願いします。m(_ _)m

『疾風ロンド』

チャンネルNECO

2016年　日本

監督 脚本:吉田照幸

脚本:ハセベバクシンオー

原作:東野圭吾

出演:阿部寛 大倉忠義 大島優子 柄本明
堀内敬子 戸次重幸 濱田龍臣 志尊淳 野間口徹

12月22日(日)17:15
2020年1月22日(水)7:50

ある日、医科学研究所主任・栗林和幸は、学研究所長・東郷から無理難題を押し付けられた。

医科学研究所の所員が研究で偶然作ってしまった病原菌《Ｋ－５５》に夢中になった為解雇されたのだが、逆恨みである場所に《Ｋ－５５》をしかけし放置。「３億円を払わなければ、日本中に《Ｋ－５５》を拡散する」と脅迫メールを送ってきた。

ところが、その男はメールを送信した後に交通事故で死亡。遺品に仕掛けを起動させる発信機と《Ｋ－５５》を隠したテディベアの写真。それをヒントに栗林は野沢温泉スキー場にスノボーが得意な息子・秀人と共に向かう…。

一番《疾走》しなけりゃ主人公以外の出演者が一番《疾走》する映画。阿部寛じる主人公以外みんないい人です。でも、爽快感はある映画なのでスキー映画としてはオススメ。

『君の名は。』

WOWOW

2016年　日本

製作:市川南 大田圭二 川村元気 伊藤耕一郎

監督 脚本 原作:新海誠

声の出演:神木隆之介 上白石萌音 長澤まさみ 市原悦子 成田凌
悠木碧 島崎信長 石川界人 谷花音 花澤香菜

12月22日(日)19:00
2020年1月1日(水)19:00

巷では地球に千年ぶりに彗星が近づいているある日。東京に住む男子高校生・立花瀧と岐阜県糸守町に住む女子高校生・宮水三葉は、朝目が覚めると２人の《心》が入れ替わっている事に驚く。最初はお互い《夢》だと思っていたが、どうも《夢》ではないらしい。

週に何度も入れ替わり最初は戸惑うが、やがてお互いスマホの日記でやり取りをしてそれぞれの生活を満喫するようになる。

ところが、ある日。入れ替わりが無くなり、瀧は寂しさを感じる。そこで、瀧は記憶を頼りに三葉の住む村を探すとなんとその村は３年前地球に飛来した彗星から落ちた隕石の為、消滅した村で三葉達も亡くなっていたのだ…。

少年・少女のよくある話かと思いきや、サスペンスあり、ラブストリーありで世界中で大ヒットした。

声優も神木隆之介と上白石萌音さわやかさが半端ない。

『Ｚ』

１９６９年　アルジェリア フランス
製作：ジャック・ペラン　監督 脚本：コスタ＝ガヴラス
原作：ヴァシリ・ヴァシリコス

出演：イヴ・モンタン イレーネ・パパス
ジャン・ルイ・トランティニャン ジャック・ペラン
シャルル・デネール フランソワ・ペリエ

ヨーロッパの小さな国。国民に高圧的な態度を取る政府に抵抗し、ある一人の政治家が支持を集めていた。

名前はＺ氏。大学教授で医師でもある彼は、政府から圧力をかけられていた。

ある日、演説会場からの帰りにＺ氏は暴漢に襲われ、急死してしまう。暴漢は逃げ去り警察と憲兵隊はなんの役にも立たない。その上、死因を《自動車事故》と発表される。

しかし、事故を調べる予審判事は、Ｚ氏の友人達の証言から、事件に疑問を持ち調べ始める。すると、次々と事故を覆す証言が出て、ついに【黒幕】にたどり着くが…。

63年5月22日にギリシャで起こった軍備拡大に抗議していた政治家の暗殺事件の映画化。この後、ギリシャは混乱を極め軍事クーデターが起こった。

この映画は、軍事クーデターに抗議した映画界の有志が製作した政治映画の傑作。

（40号より転載）

この映画は軍事クーデターが起きたギリシャから亡命を余儀なくされた文化人・俳優達が**自由を求める人達に向けて作られた。**

70年代も世界的に混乱した時期でもあったが、今の時代とは違い将来にもっと期待できた時代だった。

今は世界的に複雑になりすぎ、70年代よりも何が真実がわからなくなってきて何かに踊らされているのでは？と感じたりもする。

しかし、**多くの人には「真実を見極め自由を守る」力はまだあると思っている。**

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie CinemaFilm Movie Cinema Film Movie

☆読んで頂いてありがとうございました。よろしかったらご感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願いします！m(_ _)m 貴樹諒音

☆次回発行は来月17日のみです m(_ _)m

【編集後記】

☆コラムにも書きましたが、病み上がりの為か今号は愚痴っぽくなってしまいました。

でも、寝込んでいる間はいろいろと考えてしまいます。この頃の風邪はしつこいです。

皆様もお気をつけてください。

かしこ m(_ _)m

シネマズライフ174号
✕ 発行人：貴樹諒音 ✕
発行日：2019年12月21日
cinemaz-life@movie.nifty.jp
✕ 告知ブログ ✕
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/

シネマズライフーcinemaz-lifeー １７４号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi
著者：貴樹 諒音
メールアドレス **cinemaz-life@movie.nifty.jp**
著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html

【写真素材-フォトライブラリー】
の画像を使わせてもらっています。

《チャンネル**NECO**》
『疾風ロンド』
《ＷＯＷＯＷ》
『君の名は。』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。
ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画
rion_takagiのMyムービー
https://movies.yahoo.co.jp/my/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A--/

お世話になっているインターネットＴＶ
netchannel KYO

§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸いです。
cinemaz-life@movie.nifty.jp

§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

電子書籍プラットフォーム：パブー（http://p.booklog.jp/）
運営会社：デザインエッグ株式会社